

私のお正月

皆さんは正月をどのように過ごされますか。正月と言えば、おせち料理、雑煮、餅つき、お年玉、また最近では海外で過ごす方など楽しいことがいっぱいですね。でもやっぱり家でゆっくりとテレビでも観ようと思っている方もいるでしょう。

今年は戌年、地域のまちかど特派員の方から推薦いただいた各年代の戌年の方々に思い出の正月を語っていただきます。



大森康史さん
(土山町)
昭和45年生まれ

一番思い出深いお正月

お正月にまつわる一番記憶に残る思い出と言えば、小学生の頃、友達や従兄弟たちと凧上げや独楽回しをして遊んだ事です。凧を上げる時、通常の凧糸の長さでは物足りなくてさらに糸を繋ぎ合わせて空高く上げたり、「けんか凧」(凧同士を接近させて凧糸をからませて強く引っ張りあい、糸が切れた

方が負け、という凧遊び)をして競い合ったり……。勝負に負けたとき運悪く強風だったりとすると1キロ近い所まで凧を取りに行かなければならない事もありました。独楽回しについては独楽に沿ってきれいに紐を巻きつけて勢いをつけて回すという一連の動作が私は苦手だったので、隣で次々と何個も回し遊ぶ従兄弟たちの独楽を眺めている方が多かった気がします。他にトランプ、花札、福笑いなど、大人数でワイワイ楽しむ遊びをした事が懐かしく思い出されます。

こんなまちになってほしいな

若い人がふる里を思い出すような伝統を大切にふるまちなちになってほしいです。

いちご大福を作ろう！



香取良美さん
(甲南町)
平成6年生まれ

去年のお正月に家族でモクモクファームへ行き、いちご大福を作りました。まず、いちごを摘みました。ビニールハウスの中は思ったより暑くて、いちごの良い香りが立ち込めていました。それから手作り館に戻って、いよいよ大福作りが始まりました。おもちゃパットに移す時、熱かったのでお父さんが手伝ってくれました。べたべた手に付いて、おもちを丸めるのは大変でした。初めて作ったいちご大福は、いちごが甘酸っぱくてとてもおいしかったです。

私は将来お菓子屋さんになりたいと思っています。おいしくて楽しいおかしを作っている人々に食べてもらいたいです。

こんなまちになってほしいな

便利だけれど、自然がいっぱいのまちになってほしいです。

慶弔、あざなえる縄のじょうじ



宇田 清さん(信楽町) 昭和21年生まれ

回し、窯焚きが続いています。

私が結婚したのは昭和52年(1977)、春、31歳でした。ハネムーンベイベーだったのでしょうか、その翌年1月2日を予定日として子どもに恵まれることを知りました。ところが、その子は予定より早く、12月26日、長男として誕生しました。

その年の師走、翌年の正月は母子ともの喜びの退院を待つ日々になるはずでしたが、同じ日、母方の父(私の祖父)の他界を知ったのです。

慶弔、あざなえる縄のごとしといいますが、仕事関係の後片付けも加わって、実にあわただしい年末年始でした。結局、正月の2日、妻と子はめでたく退院、子どもの親として初めての正月を迎えたことになりましたが、今も忘れられない正月です。

こんなまちになってほしいな

信楽焼という名前を信楽町地域だけでなく甲賀市がひとつとなって全国にPRしていったほしいと思います。

一番思い出深いお正月



本間香織さん
(水口町)
昭和57年生まれ

これまでで一番思い出深いお正月と言えば、やはり高校3年生の時のお正月です。推薦入試で希望の大学に合格できなかった私は、既に合格した友達らが残りの高校生活をバイトや遊びで謳歌しているのをうらやましく思いながらも、お正月早々、焦りと不安を募らせ机に向き合えるを得なかったことを覚えています。今までもあの年のお正月らしくないお正月は、私の中でほろ苦い思い出はあるものの、人生にたった一度の貴重なお正月であったようにも思っています。受験生の皆さん、大変だと思いますが、今を大切に頑張ってください。

こんなまちになってほしいな

市民のニーズに合ったまちになってほしいです。特に市内では外国籍の方が増えています。言葉が通じないということから生活する上で、様々な苦労や問題がでてくると思います。誰もが住みやすいといえるようなまちになってほしいと思います。

正月の遊び



中澤 力さん
(甲賀町)
昭和9年生まれ

6回目巡って来た戌年を無事に迎えられた事に感謝しています。建築業を志し55年間に約大小120件のお家を手掛けさせてもらいました。私にとっては特に思い出深い正月は、施主様が何としても正月までに完成させてほしいとの要望に応えるために年末の夜も寝ずに完成させたお家が何件もありました。完成した木の香りも新しいお家で一家団欒のお正月を祝っておられることを思う時、私の元日は達成感と安堵感に満ち、大工の仕事を選んだ事を喜び感謝しています。現在は引退しましたが、今なお手掛けたお家の安全とご多幸を祈るのが私の正月の行事と喜びなのです。

こんなまちになってほしいな

広い甲賀市の隅々まで情報が行き届き、地域差が無くなることを願っています。誰もが笑顔で暮らせる甲賀市を望んでいます。また旧町からの忍術やくすりをもっとPRしていったほしいです。